

## 執筆者略歴

### 水岩 伸吾（みずいわ しんご）

1等空佐 航空幕僚監部運用支援・情報部情報課付。  
 防衛大学校理学部卒（学士（天文学））、第59期指揮幕僚課程修了、ブルッキングス研究所（Federal Executive Fellow）。  
 第7航空団、中部航空方面隊司令部、第83航空隊（現第9航空団）、外務省軍縮不拡散科学部、航空幕僚監部、統合幕僚監部、幹部学校、第13飛行教育団、米空軍参謀本部連絡官、航空研究センター防衛戦略研究室長を経て現職。

### 三浦 光帆（みうら みつほ）

1等空尉 航空研究センター防衛戦略研究室 研究員。  
 慶應義塾大学大学院法学研究科修了（修士（法学））。  
 専門は、宇宙法、国際法、宇宙政策。

### 青柳 加奈子（あおやなぎ かなこ）

3等空佐 航空研究センター防衛戦略研究室 研究員。  
 福島大学行政社会学部卒（学士（社会学））、早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了（修士（政治学））。  
 第8航空団、第1補給処、航空幕僚監部総務課、防空指揮群、補給本部を経て現職。  
 専門は、国際関係。  
 著作に、「米軍の対 A2/AD(Anti Access/Area Denial)作戦概念—ASB(Air-Sea Battle)、OSC(Offshore Control)及び DBD(Deterrence by Denial)—」『エア・パワー研究』第3号、2016年12月、などがある。

### 片山 貴裕（かたやま たかひろ）

2等空佐 南西航空方面隊司令部。  
 早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了（修士（政治学））。  
 航空研究センター勤務などを経て現職。  
 翻訳に「エア・パワーとスペース・パワーの現在および将来の活用」（フィリップ・セイビン著、石津朋之・山下愛仁編『エア・パワー 空と宇宙の戦略原論』日本経済新聞出版、348-367頁、2019年所収）。

## 大磯 光範（おおいそ みつのり）

3等空佐 航空研究センター防衛戦略研究室 研究員。

中国・復旦大学国際関係及び公共政策学院卒（学士（法学））、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程修了（修士（政策・メディア））、台湾・国立政治大学東亜研究所博士課程在学中。

外務省専門調査員（在上海総領事館、在中国大使館）、公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所専門調査員などを経て現職。

専門は、中国政治・外交、中台関係、中国共産党史。

## 光辻 克馬（みつつじ かつま）

学術博士（東京大学、2012年）。

東京大学大学院総合文化研究科特任研究員等を経て、航空自衛隊幹部学校客員研究員。防衛装備庁特別研究官。東京理科大学非常勤講師。東洋大学非常勤講師。

専門は複雑系の視点からの国際関係論研究。

代表作に「国際政治学における実証分析とマルチエージェント・シミュレーションの架橋」『国際政治』155号、2009年、18-40頁。「〈複雑適応系〉国際政治学の可能性：〈自己組織化〉と〈創発〉を組み込んだ国際関係理解へのパラダイム・シフトを求めて」『国際政治』200号、2020年、119-134頁。（いずれも山影進との共著）